高崎市市民参加推進計画 平成 22 年度実施計画 実施状況報告

1	市政運営の各過程への市民参加に向けた取り組み(行政への参加)	
	(1)市政情報の提供、市民ニーズの把握	1
	①各種情報誌等の発行	
	②説明会、セミナー等の開催	
	③アンケート調査、モニター調査、意向調査の実施	
	(2)政策の立案(Plan)過程 ·····	9
	①審議会等の開催	
	②審議会等の委員の募集	
	③パブリックコメント手続の実施	
	(3) 実施(Do) 過程 ······	16
	(4)評価(See)過程 ····································	22
	(5) その他	23
2	地域における市民主体の公益活動への支援(市民公益活動への参加)	
	(1)情報の提供	24
	(2)人材育成、交流機会の提供	25
	(3) 委託、補助の実施	27

平成 22 年度 市民参加の状況

平成 22 年度は、市民参加を進める上での課題の把握と事務改善を図るため、平成 21 年度実施計画の実施状況の調査を行うとともに、平成 23 年度実施計画の策定作業を行った。

市民参加推進計画平成 22 年度実施計画に基づいて実施された事業等は、以下のとおりである。実施事業数は 188 事業であり、平成 21 年度の 169 事業より 19 事業増加した。なお、平成 22 年度実施計画に基づかない事業は、名称等に★が付されている。

1 市政運営の各過程への市民参加に向けた取り組み(行政への参加)

(1) 市政情報の提供、市民ニーズの把握宴会

①各種情報誌等の発行

No.	事業名	実施状況	担当課
1	外国語ニュースレター	行政情報や外国人向けイベント情報を多言	市長公室
	(英語、中国語、ポル	語で提供するニュースレターを毎月 800 部	秘書課
	トガル語)	作成し、希望する外国人に郵送するほか、市	
		役所外国人登録窓口や各支所、入国管理局等	
		で配布した。	
2	国際交流協会会報	国際交流イベントや国際理解講座、ボランテ	市長公室
		ィア情報を紹介する情報誌を国際交流協会	秘書課
		会員向けに9回(各回2,000部作成)発行し	
		た。また、市役所国際交流コーナーで配布し	
		た。	
3	国際交流協会ホームペ	国際交流イベントや国際理解講座、ボランテ	市長公室
	ージ	ィア情報などを発信した。また、英語、中国	秘書課
		語、ポルトガル語による生活情報、各種イベ	
		ント情報などの提供も行った(月1回程度更	
		新)。	
4	中核市パンフレット	平成 23 年 4 月 1 日の中核市移行について、	市長公室
		市民や事業者へ広く情報提供を行うため、パ	企画調整課
		ンフレットを 154,000 部作成し、市内全世帯	
		と公共施設等に配布した。	

No.	事業名	実施状況	担当課
5	広報高崎	市政に関する様々な情報を盛り込んだ広報	市長公室
		紙を、毎月1日と15日に発行し、市内全世	広報広聴課
		帯に配布した。発行部数は 152,000 部/月で	
		あった。	
6	高崎市ホームページ	高崎市の公式ホームページを通じ、各課の業	市長公室
		務をはじめとする最新の市政情報を詳しく	広報広聴課
		発信した。月平均のアクセス数は 23 万件で	
		あった。	
7	番組制作 · 放送委託事	ラジオ高崎に番組の制作・放送を依頼し、	市長公室
	業	様々な市政情報を 2,930 回発信した。また、	広報広聴課
		英語、中国語、ポルトガル語による情報提供	
		を、毎日3回、計1,095回行った。	
8	市政情報提供事業	市政情報を広く内外へ発信するため、報道機	市長公室
		関へ279件の情報を提供した。	広報広聴課
9	個人情報保護制度Q&	個人情報保護制度に対する誤解や理解不足	市民部
	Aパンフレット	等を背景とする、いわゆる「過剰反応」の状	市民生活課
		況に対し、市民への周知を目的としたパンフ	
		レットを本庁及び各支所で配布した。	
10	消費生活センターニュ	市民が悪質商法の被害に遭わないための情	市民部
	ース	報等、消費生活向上のための情報誌を	市民生活課
		453,000 部作成し、7月、10月、3月に全世	
		帯に配布した。	
11	男女共同参画広報紙	男女共同参画に関する特集記事やイベント	市民部
	バモス第 13 号	情報等を掲載した広報紙を 152,000 部作成	人権男女共同
		し、市内全世帯に配布した。	参画課
12	★介護予防実態調査分	平成 22 年度に実施した介護予防実態調査分	福祉部
	析支援事業報告書	析支援事業についての成果報告書を 500 部	長寿社会課
		作成し、報道機関等に配布した。	
13	★ みまもり・あんしん	認知症に関する相談先や地域資源等を掲載	福祉部
	認知症ガイドブック	したガイドブックを 20,000 部作成し、市民	長寿社会課
		に配布した。	
14	高崎市保健所パンフレ	高崎市保健所の概要について、市民に周知す	保健医療部
	ット	るためのパンフレットを 10,000 部作成し、	保健医療総務
		公共施設等で配布した。	課

No.	事業名	実施状況	担当課
15	高崎市予防接種カレン	乳幼児の予防接種を計画的に受けてもらう	保健医療部
	ダー	ため、予防接種カレンダーを 23,000 部作成	保健予防課
		し、各公共施設・医療機関で配布した。	
16	健康のしおり	乳幼児から大人までの健康診査や予防接種	保健医療部
		などの詳細な情報を掲載した健康のしおり	健康課
		を 160,000 部作成し、市内全世帯に配布し	
		た。	
17	環境白書概要版	高崎市環境基本計画の進捗状況や環境関連	環境部
		施策の状況を掲載した環境白書の概要版を	環境政策課
		350部作成し、本庁及び各支所等で配布した。	
18	ごみかわら版	一般家庭を対象にごみの分別や排出方法等	環境部
		を周知するため、ごみかわら版を 186,200 部	一般廃棄物対
		作成し、市内全世帯に配布した。	策課
19	観光たかさき	観光施設やイベント等を紹介する情報誌を	商工観光部
		40,000 部作成し、市民情報センターや(社)	観光課
		観光協会員、報道機関のほか市民が集まる公	
		共施設等に配布した。	
20	★サークル・団体活動	地域の子育てサークル活動の活性化するた	教育部
	マニュアル集(改訂版)	め、また、中核市移行の契機に最新情報を提	社会教育課
		供するため、改訂版を 1,000 部発行した。	
21	★子ども活動デー・イ	土曜日の子どもの活動を支援するため、生涯	教育部
	ンフォメーション	学習関連施設等の事業の情報提供を行う情	社会教育課
		報誌を、年4回、1回につき35,500部作成	
		し、市内の小・中学校全校及び公共施設等に	
		配布した。	
22	★生涯学習たかさき	地域住民の生涯学習の振興を図るため、当該	教育部
		年度における生涯学習事業や生涯学習につ	社会教育課
		いての情報提供を行う広報誌を 156,000 部	
		作成し、市内全世帯及び公共施設等に配布し	
		た。	
23	水のめぐみ	上下水道事業に関する情報を周知するため、	水道局
		情報誌 453,891 部を作成し、市内全世帯に 3	経営企画課
		回配布した。	下水道局
			総務課

②説明会、セミナー等の開催

NO.	事業名	実施状況	担当課
24	国際理解講座	市民の国際理解を目的に、外国語講座を 140	市長公室
		回、海外料理教室を 4 回開催し、のべ 292	秘書課
		人が参加した。	
25	多文化共生推進講演会	多文化共生の地域づくりを推進するため、専	市長公室
		門家を講師に迎えて講演会を開催し、70人	秘書課
		が参加した。	
26	高崎市美術館記念講演	市民の文化に対する理解を深めるため、展覧	市長公室
	会	会監修者等による講演会を4回開催し、延べ	文化課美術館
		325 人の参加があった。	
27	美術館ワークショップ	市民の文化活動に対する意欲を高めるため、	市長公室
		作家等によるワークショップを 10 回開催	文化課美術館
		し、のべ 167 人の参加があった。	
28	市有施設見学会	市政への理解や関心を深めてもらうことを	市長公室
		目的に、無料で参加できる市有施設見学会を	広報広聴課
		10 回開催し、延べ 199 人が参加した。	
29	自治基本条例タウンミ	自治基本条例(仮称)の制定にあたり、幅広	総務部
	ーティング	く市民の意見を伺うため、各地域において	自治振興課
		10回の意見交換会を開催し、218人が参加し	
		た。	
30	自治基本条例フォーラ	自治基本条例(仮称)の制定にあたり、幅広	総務部
	A	く市民の意見を伺うため、高崎シティギャラ	自治振興課
		リーでフォーラムを開催し、110人が参加し	
		た。	
31	ハザードマップ住民説	土砂災害等の吉井地域のハザードマップに	総務部
	明会	ついて広く周知するため、地域住民を対象に	防災安全課
		説明会を開催した。	
32	防犯講座	高齢者等の犯罪被害防止のため、地域単位で	総務部
		防犯講座を10回開催し、267人が参加した。	防災安全課
33	高崎経済大学公開講座	大学が社会に対して広く学習の機会を提供	総務部
		し、地域文化の向上と生涯学習の一助となる	行政管理課
		ことを目的に、高崎経済大学教員による市民	
		を対象とした講座を 18 回開催し、延べ 810	
		人が参加した。	

NO.	事業名	実施状況	担当課
34	高崎経済大学経済学部	実務的な立場で研究している専門家や各界	総務部
	リレー講義	の第一線で活躍されている方を講師に迎え、	行政管理課
		リレー方式で30回の講義を開催し、延べ108	
		人が参加した。	
35	★産業研究所公開講座	大学と市民の交流を進めるため、高崎経済大	総務部
	(主催:附属産業研究	学教員が講師となり、地区公民館を会場にし	行政管理課
	所)	た講座を 15 回開催し、延べ 280 人が参加し	
		た。	
36	公開講演会(主催:附属	金融経済・地方行政・人材育成等をテーマと	総務部
	地域政策研究センタ	した公開講演会を2回開催し、149人が参加	行政管理課
	—)	した。	
37	学術講演会(主催:経	経済・経営等の先進的な研究や実践的な活動	総務部
	済学会)	をテーマとした講演会を 4 回開催し、延べ	行政管理課
		303 人が参加した。	
38	学術文化講演会	地域政策についての先進的な研究や実践的	総務部
	(主催:地域政策学会)	な活動をテーマにした講演会を2回開催し、	行政管理課
		延べ84人が参加した。	
39	人権を考える市民の集	市民の人権意識の高揚を図るため、小中学生	市民部
	\ \	から募った標語、作文、絵画の表彰・発表を	人権男女共同
		行うとともに、講師を迎えて講演会を開催	参画課
		し、324 人が参加した。	
40	企業等関係者人権啓発	企業の人権意識の高揚を図るため、企業等を	市民部
	研修会	対象にした研修会を開催し、80 人が参加し	人権男女共同
		た。	参画課
41	プラザフェスタ 2010	市民の人権意識の高揚を図るため、高崎市人	市民部
	in たかさき	権プラザ4館合同による学習発表会等を開	人権男女共同
		催し、300人が参加した。	参画課
42	人権プラザ講演会	人権意識の高揚を図るため、講演会を開催	市民部
		し、85人が参加した。	人権男女共同
		- C、 GG / (パッツ/)H C / C o	参画課
43	人権プラザ啓発ビデオ	市民の人権意識の高揚を図るため、人権をテ	市民部
	上映会	ーマとしたビデオ上映会を 12 回開催し、延	人権男女共同
		べ 161 人が参加した。	参画課

NO.	事業名	実施状況	担当課
44	男女共同参画セミナー	人権尊重を基盤とした男女平等感の形成を	市民部
		促進し、男女共同参画社会の実現に向けた意	人権男女共同
		識の高揚を図ることを目的としたセミナー	参画課
		を4回開催し、延べ50人が参加した。	
45	男女共同参画推進講演	男女共同参画に関する市民の理解と協力を	市民部
	会	促進することを目的とした講演会を開催し、	人権男女共同
		701 人が参加した。	参画課
46	男女共同参画推進映画	男女共同参画社会の実現に向けた課題・問題	市民部
	上映会	点をテーマとした作品の上映会を開催し、	人権男女共同
		232 人が参加した。	参画課
47	★認知症サポーター養	認知症地域支援体制構築等推進事業として、	福祉部
	成講座	市立公民館等で 228 回講座を開催し、8,188	長寿社会課
		人が参加した。	
48	★口腔機能向上・栄養	介護予防の重点項目である口腔・栄養に関す	福祉部
	改善講演会	る講演会を13回開催し、524人が参加した。	長寿社会課
49	★百歳体操講習会	介護予防のため、接骨師会が考案した 100	福祉部
		歳まで元気でいるための体操講習会を長寿	長寿社会課
		センターで6回開催し、97人が参加した。	
50	★介護予防教室	町内公民館等を会場に介護予防教室を 63 回	福祉部
		開催し、1,068人が参加した。	長寿社会課
51	★さわやか元気教室	町内公民館等を会場にさわやか元気教室を	福祉部
		10 コース(1 コース 12 回)開催し、235 人	長寿社会課
		が参加した。	
52	予防接種説明会	乳幼児の予防接種に係る正しい知識と計画	保健医療部
		的な接種の仕方について保護者に周知する	保健予防課
		ため、説明会を 10 回開催し、延べ 369 人が	
		参加した。	
53	環境講演会	環境保全活動の啓発のため、環境フェアの一	環境部
		環として地球温暖化対策に関する講演会を	環境政策課
		開催し、400人の参加がした。	
54	家庭犬のしつけ方講座	飼犬のしつけ方や健康管理、飼い主の義務な	環境部
	及び教室	どの周知を目的に、講座を 1 回と教室を 4	環境政策課
		回開催し、延べ70人が参加した。	

NO.	事業名	実施状況	担当課
55	たかさき景観まちづく	高崎市制 110 周年記念事業として「桜のさと	都市整備部
	り講演会	から、桜のまちへ〜桜のよもやま話」をテー	都市計画課
		マに、桜の名所づくり・まちづくりに関する	景観室
		講演会を開催し、240人が参加した。	
56	屋外広告物講習会	中核市移行により県から権限移譲を受ける	都市整備部
		屋外広告物許可業務等に関する制度説明会	都市計画課
		を開催し、26人が参加した。	景観室
57	生涯学習まちづくり出	市の行っている様々な仕事や専門知識をテ	教育部
	前講座	ーマに、市民の求めに応じて市職員などが講	社会教育課
		師となる出前講座を80回開催し、延べ3,111	
		人が参加した。	
58	人間を考える市民講座	優れた講演を聞くことによって「人間のある	教育部
		べき姿」を考え、自分の生き方を見つめ直す	中央公民館
		講座を開催し、125人が参加した。	
59	若者のための選挙講座	青年層の政治常識の向上を図り、選挙への参	選挙管理委員
		加を啓発するため、選挙実務担当者による講	会事務局
		座を開催し、12人が参加した。	
60	耐震性貯水槽操作説明	災害時に使用する耐震性貯水槽の操作方法	水道局
	会	を市民に広く周知するため、説明会を 10 回	工務課
		開催し、延べ790人が参加した。	

③アンケート調査、モニター調査、意向調査の実施

NO.	事業名	実施状況	担当課
61	まちづくり市民意識調	第5次総合計画前期基本計画の中間年度に	市長公室
	查	おける施策の達成度、市民の満足度などを測	企画調整課
		定・分析するため、アンケート調査を実施し、	
		2,312件の回答をいただいた。	
62	文化事業アンケート	文化公演終了後の感想や今後の公演に対す	市長公室
		る要望、ホールへの意見を事業の企画等へ反	文化課
		映させるため、アンケート調査を行い、409	
		件の回答をいただいた。	
63	美術館展覧会入館者ア	展覧会に対する入館者の意向を把握し、今後	市長公室
	ンケート調査	の企画や広報活動の参考とするため、アンケ	文化課美術館
		ート調査を行い、2,716 人から回答をいただ	
		いた。	
64	「市民の声」アンケー	市政に対する市民の総合的な意識を把握し、	市長公室
	卜調査	今後の市政運営に反映させるため、アンケー	広報広聴課
		ト調査を行い、2,775人から回答をいただい	
		た。	
65	市への意見・提言(市	市民からの意見・提言を市政に反映させるた	市長公室
	民の声)制度	め、電子メールや専用の用紙などにより、318	広報広聴課
		件の意見をいただいた。	
66	介護保険事業計画等策	介護保険事業等に対する市民の意向を把握	福祉部
	定アンケート調査	するためにアンケート調査を行い 1,977 人	長寿社会課
		より回答をいただいた。	
67	商工情報モニター	産業構造や経済情勢の変化に対応するため、	商工観光部
		市内企業 80 社から四半期ごとに生産・販売	工業課産業創
		状況や商工行政に対する意見を聴取し、	造館
		80.6%の企業から回答をいただいた。	
68	★箕郷地域の公共交通	高齢者福祉タクシー事業の見直しに関し、箕	箕郷支所
	に関するアンケート調	郷地域に居住する交通弱者にアンケート調	福祉課
	査	査を行い、238 件の回答をいただいた。	

(2)政策の立案 (Plan) 過程

①審議会等の開催

NO.	審議会等の名称	実施状況	担当課
69	たかさき地球市民環境	環境と人が共生するまちづくりを目指して、	市長公室
	会議	市民・企業・教育・行政の各分野が協働して	秘書課
		環境問題に取り組むための会議を開催した。	
70	高崎市立美術館協議会	会議を2回開催し、美術館運営及び展覧会に	市長公室
		必要な事項に関して館長へ意見を述べた。	文化課美術館
71	高崎市自治基本条例を	高崎市自治基本条例(仮称)の制定に向け、	総務部
	考える会	条例に盛り込むべき事項等について、公募市	自治振興課
		民と職員が協働で会議を17回開催した。	
72	高崎市人権プラザ運営	人権プラザの運営方針や人権問題の解決に	市民部
	会議	向けた取り組み等について、協議を行った。	人権男女共同
			参画課
73	高崎市男女共同参画審	高崎市男女共同参画推進条例に基づき、第2	市民部
	議会	次男女共同参画計画に登載された事業の平	人権男女共同
		成 21 年度実施状況等、男女共同参画の推進	参画課
		に関する重要事項について、調査・審議を行	
		った。	
74	高崎市国民健康保険運	会議を2回開催し、国民健康保険の運営に関	市民部
	営協議会	する意見交換や調査、審議を行った。	保険年金課
75	高崎市介護保険運営協	会議を2回開催し、介護保健事業計画の策定	福祉部
	議会	や見直し、進行管理、その他高齢者保健福祉	長寿社会課
		施策に関する調査・検討を行った。	
76	★認知症にやさしいま	会議を 13 回開催し、認知症地域支援体制構	福祉部
	ちづくり推進協議会	築等推進事業の推進に関する事項等を検討	長寿社会課
		した。	
77	★高崎市地域包括支援	会議を2回開催し、地域包括支援センターの	福祉部
	センター運営協議会	適正な設置及び運営、評価、その他介護保険	長寿社会課
		外サービスとの連携や高齢者福祉に関する	
		事項等の検討を行った。	
78	★高崎市地域密着型サ	地域密着型サービス事業者の適正な指定等	福祉部
	ービス運営委員会	に資するため、公募市民を含む 11 名の委員	長寿社会課
		による会議を9回開催した。	

NO.	審議会等の名称	実施状況	担当課
79	次世代育成支援対策地	会議を2回開催し、高崎市次世代育成支援行	福祉部
	域協議会	動計画に基づく施策・事業の実施状況等につ	こども家庭課
		いて協議、検討を行った。	
80	こども都市宣言検討委	会議を 3 回開催し、子どもたちが作成した	福祉部
	員会	「こども憲章」に対し、大人の目線で子供た	こども家庭課
		ちを育む環境づくりを推進するための、「こ	
		ども都市宣言」の内容等について協議、検討	
		を行った。	
81	高崎市保健所 (仮称)	高崎市保健所(仮称)を設置するにあたり、	保健医療部
	設置懇話会	設置準備の状況等について、報告を7回行っ	保健医療総務
		た。	課
82	高崎市食育推進会議	会議を3回開催し、高崎市食育推進計画に基	保健医療部
		づく施策の実施とその推進を図るため、食育	健康課
		に関する重要事項について審議した。	
83	高崎市環境審議会	会議を2回開催し、高崎市環境基本計画の進	環境部
		捗状況や環境保全、一般廃棄物の減量等に関	環境政策課
		する事項について審議した。	
84	高崎市建築審査会	会議を4回開催し、建築基準法に基づく許可	建設部
		に対する同意、並びに同法の施行に関する重	建築指導課
		要事項について審議した。	
85	高崎市開発審査会	会議を 12 回開催し、都市計画法に基づく市	建設部
		街化調整区域における開発許可・建築許可等	建築指導課
		について審議した。	
86	高崎市ラブホテル建築	高崎市ラブホテル建築規制条例の施行に関	建設部
	審議会	する重要事項について調査、審議を行った。	建築指導課
87	高崎市都市計画審議会	会議を3回開催し、都市計画法に基づき、本	都市整備部
		市の都市計画に関する事項について調査、審	都市計画課
		議を行った。	
88	高崎市バリアフリー推	高崎市交通バリアフリー基本構想に基づく	都市整備部
	進会議	事業の進捗状況に対し、確認・調整・提言を	都市計画課
		行った。	
89	新町駅周辺バリアフリ	会議を2回開催し、新町駅周辺のバリアフリ	都市整備部
	一基本構想策定協議会	ー化を促進するため、バリアフリー新法に基	都市計画課
		づく基本構想を策定した。	

NO.	審議会等の名称	実施状況	担当課
90	高崎市景観審議会	「高崎市景観計画」における景観色彩ガイド	都市整備部
		ラインの策定や吉井地域の区域編入、景観条	都市計画課
		例上の屋外広告物の届出制度の廃止等、良好	景観室
		な都市景観の形成に関する重要事項につい	
		て、調査、審議を2回行った。	
91	高崎市緑化審議会	会議を2回開催し、緑豊かなまちづくりのた	都市整備部
		め、緑の保全と緑化の推進に関する重要事項	公園緑地課
		について、調査、審議を行った。	
92	地域審議会	倉渕、箕郷、群馬、新町、榛名、吉井の各地	地域づくり推
		域で、地域住民の声を市政に反映させるた	進課
		め、新市建設(基本)計画の進捗状況など、ま	地域振興課
		ちづくりの重要事項について審議した。	
93	小栗の里拠点施設建設	会議を2回開催し、小栗の里拠点施設の建設	倉渕支所
	懇話会	にあたり、盛り込むべき機能及び施設の管理	地域振興課
		運営等について検討を行った。	
94	榛名宮本町まちづくり	榛名地域の商業の中心地であった下室田宮	榛名支所
	会議	本町商店街の空き店舗対策や街並み整備に	地域振興課
		ついて検討するため、地域住民の参加による	
		ワークショップを6回開催した。	
95	吉井地域中心市街地活	吉井地域中心市街地の活性化を検討するた	吉井支所
	性化会議(こ~でねぇ	め、地域住民の参加によるワークショップを	地域振興課
	会)	12 回開催した。	
96	高崎市社会教育委員会	全体会議2回と小委員会6回を開催し、本市	教育部
	議	の社会教育に関する重要事項について調査、	社会教育課
		審議を行い、教育長を通じて教育委員会へ答	
		申した。	
97	高崎市スポーツ振興審	スポーツの振興に関する重要事項について	教育部
	議会	調査、審議を行った。	スポーツ課
98	高崎市青少年問題協議	公募の委員2人を含む20人の委員で、青少	教育部
	会	年の指導、育成、保護及び矯正に関する重要	青少年課
		事項について調整、審議した。	
99	高崎市公民館運営審議	高崎市公民館連絡協議会の諮問に応じ、公民	教育部
	会	館運営に関する事項について調査、審議を行	中央公民館
		った。	

NO.	審議会等の名称	実施状況	担当課
100	高崎市水道事業及び公	会議を2回開催し、水道事業と公共下水道事	水道局
	共下水道事業運営審議	業の運営と経営に関する事項等について調	経営企画課
	会	査、審議を行った。	
101	高崎市簡易水道事業等	倉渕、箕郷、榛名地区の簡易水道事業の運	水道局
	運営審議会	営・経営について、調査、審議を行った。	浄水課

②審議会等の委員の募集

NO.	審議会等の名称	実施状況	担当課
102	★高崎市国民健康保険	委員2人を3月に募集し、2人の応募があっ	市民部
	運営協議会	た。	保険年金課
103	★次世代育成支援対策	委員2人を11月に募集し、2人の応募があ	福祉部
	地域協議会	った。	こども家庭課
104	高崎市緑化審議会	委員2人を4月~5月に募集し、4人の応募	都市整備部
		があった。	公園緑地課
105	高崎市青少年問題協議	委員2人を7月に募集し、5人の応募があっ	教育部
	会	た。	青少年課
106	★高崎市簡易水道事業	委員2人を12月~1月に募集し、2人の応募	水道局
	等運営審議会	があった。	浄水課

③パブリックコメント手続の実施

NO.	政策等の名称	実施状況	担当課
107	高崎市自治基本条例	高崎市自治基本条例 (仮称) (素案)について、	総務部
	(仮称) (素案)	幅広く市民の意見を収集するため、パブリッ	自治振興課
		クコメント手続を実施し、232 人から 403	
		件の意見をいただいた。	
108	公立大学法人高崎経済	公立大学法人高崎経済大学中期目標につい	総務部
	大学中期目標 (案)	て、幅広い市民の意見を収集するためにパブ	行政管理課
		リックコメント手続を実施し、4人から4件	
		の意見をいただいた。	
109	★こども都市宣言	こども都市宣言について、パブリックコメン	福祉部
		ト手続を実施し、8人から8件の意見をいた	こども家庭課
		だいた。	
110	悪臭防止法に基づく規	悪臭防止法に基づく規制地域の拡大につい	環境部
	制地域の拡大	て、幅広い市民の意見を収集するためにパブ	環境政策課
		リックコメント手続を実施した。	
111	★高崎市地球温暖化対	高崎市地球温暖化対策地方公共団体実行計	環境部
	策地方公共団体実行計	画 (仮称) (骨子案) について、幅広い市民	環境政策課
	画(仮称)(骨子案)	の意見を収集するためにパブリックコメン	
		ト手続を実施し、 5 人から 24 件の意見をい	
		ただいた。	
112	高崎市浄化槽の保守点	公共用水域保全の観点から、高崎市浄化槽の	環境部
	検業者の登録に関する	保守点検業者の登録に関する条例(案)につ	一般廃棄物対
	条例(案)	いて、パブリックコメント手続を実施した。	策課
113	高崎市都市計画マスタ	高崎市都市計画マスタープラン[吉井地域]	都市整備部
	ープラン[吉井地域]	(素案) について、幅広い市民の意見を収集	都市計画課
	(素案)	するためにパブリックコメント手続を実施	
	_	した。	
114	新町駅周辺地区バリア	新町駅周辺地区バリアフリー基本構想(素	都市整備部
	フリー基本構想 (素案)	案) について、幅広い市民の意見を収集する	都市計画課
		ためにパブリックコメント手続を実施し、1	
		人から7件の意見をいただいた。	

NO.	政策等の名称	実施状況	担当課
115	屋外広告物条例 (案)	屋外広告物条例(案)について、幅広い市民	都市整備部
		の意見を収集するためにパブリックコメン	都市計画課
		ト手続を実施し、14人から 29 件の意見をい	景観室
		ただいた。	

(3) 実施(Do) 過程

NO.	事業名	実施状況	担当課
116	国際交流の集い	市民主体の実行委員会が、市民と在住外国人	市長公室
		との相互理解を目的としてイベントを開催	秘書課
		し、約 12,000 人が参加した。	
117	地球市民の日 2010	姉妹友好都市6都市とともに取り組んでいる	市長公室
		地球市民環境会議事業の一環として、市民の	秘書課
		環境問題への意識の向上を目的としたイベン	
		トを市民団体等の協力を得て実施し、約3,600	
		人が参加した。	
118	在住外国人との交流会	市民ボランティアスタッフが主体となり、市	市長公室
		民と在住外国人との相互理解を目的とした国	秘書課
		際交流バスツアー及び外国人意見発表会を実	
		施し、延べ85人が参加した。	
119	国際交流協会会報作成	市民ボランティアスタッフの協力により、国	市長公室
		際交流イベント情報を掲載したニュースレタ	秘書課
		ーを9回発行した。	
120	外国人のための日本語	在住外国人支援を目的に、市民ボランティア	市長公室
	教室	の指導、運営による日本語教室を 260 回開催	秘書課
		し、延べ398人が参加した。	
121	前橋·高崎文化連携事	前橋・高崎の両市民から出演者を公募し、市	市長公室
	業	民参加による文化公演を開催した。予選を含	文化課
		め3回開催し、延べ421人が参加した。	
122	高校生バンドフェステ	市内外の高校生を対象にしたコンテスト形式	市長公室
	イバル	のバンドフェスティバルを開催し、415 人が	文化課
		参加した。企画、広報、運営は、高校生から	
		24歳までの若者が中心の実行委員会が自主	
		的に行った。	
123	ふれあいコンサート	新町地域で活動する音楽団体の合同演奏を通	市長公室
		じて、世代や団体を超えた交流を促すため、	文化課
		市民主体の実行委員会が事業の企画・運営を	
		行い、714人が参加した。	

NO.	事業名	実施状況	担当課
124	NPO・ボランティア	参加団体で構成する実行委員会が企画・運営	総務部
	フェスティバル	を行い、市民公益活動に関わる人たちの交流	自治振興課
		や市民公益活動への参加機会を目的として、2	教育部
		月にフェスティバルを開催し、480 人が参加	中央公民館
		した。	
125	総合防災訓練	災害応急対策の円滑な実施を確保するため、	総務部
		防災関係機関、民間企業及び市民の協力を得	防災安全課
		て、総合的な訓練を行い、約 1,200 人が参加	
		した。	
126	消費生活展	消費者 6 団体で構成する高崎市消費者団体連	市民部
		絡協議会が、消費生活や食生活・環境問題に	市民生活課
		関する消費者意識の高揚を目的としたイベン	
		トを開催し、976人が来場した。	
127	生活関連物資価格調査	市民の消費生活の安定向上のため、消費者団	市民部
		体の調査員 19 人が、生活関連物資価格調査及	市民生活課
		び食品表示の確認を毎月行った。	
128	交通安全運動	高崎市交通対策協議会の主催により、各種関	市民部
		係団体の協力を得て交通安全街頭指導等を 4	地域交通課
		回実施し、586人が参加した。	
129	交通安全大会	高崎市交通対策協議会及び高崎市交通安全母	市民部
		の会との共催により、市民の交通安全意識の	地域交通課
		高揚を図るため 10 月にイベントを開催し、	
		421 人が参加した。	
130	★介護予防フェスティ	介護予防の重要性を啓発するため、介護予防	福祉部
	バル	サポーターが中心となり、体力測定、教室、	長寿社会課
		相談、パネル展示等を10月に催し、延べ312	
		人が参加した。	
131	こども村	「こども憲章」の制定を記念し、制定に携わ	福祉部
		った助言・指導者を含めた実行委員会により、	こども家庭課
		「こども憲章」を周知するためのイベントを	
		2回実施し、15,000人が参加した。	
132	ファミリーサポートセ	育児の援助を頼みたい人と援助を提供できる	福祉部
	ンター事業	人が会員となり、2,770 回の子育ての相互援	保育課
		助が行われた。	

NO.	事業名	実施状況	担当課
133	おなかの赤ちゃんをみ	妊婦が安心して暮らせる社会を目指し、妊娠	保健医療部
	んなで守る事業	していることを公共の場でさりげなく周囲に	健康課
		知らせるためのマタニティ・キーホルダー及	
		びマタニティ・専用ステッカーを 3,350 人に	
		配布した。	
134	環境フェア	環境配慮の意識の啓発を目的に、市民団体及	環境部
		び事業者の協力により、環境活動の紹介やク	環境政策課
		リーンアップキャンペーン、ライトダウンを	
		実施した。	
135	商業応援団事業	商業活性化のため、公募市民「商業応援団」9	商工観光部
		人が主体となり、「たかさきの洋菓子」をテー	商業課
		マに、消費者の視点に立った買い物スポット	
		や隠れた名店などを取りまとめたマップを作	
		成した。	
136	量目試買モニター	適正計量の重要性を周知することを目的とし	商工観光部
		て、市民モニターによる試買検査を、2 回実	商業課
		施した。	
137	たかさき粉フェスタ	市民主体の実行委員会が主体となり、中心市	商工観光部
	2010	街地の活性化と地産地消の推進、地場産業の	商業課
		発展を目的とした「たかさき粉フェスタ 2010」	
		を開催した。	
138	高崎フィルム・コミッ	本市のPRや地域の活性化のため、映画やド	商工観光部
	ション	ラマ等の市民エキストラを 18 件募集し、撮影	観光課
		を支援した。1,150 人が応募し、エキストラ	
		登録者数は平成22年度末時点で3,777人とな	
		った。	
139	ようこそ高崎人情市	中心市街地の活性化を目的に、NPO法人や	商工観光部
		ボランティア団体が主体となり、朝市やフリ	観光課
		ーマーケットなどのイベントを毎月第4日曜	
		日に開催した。	
140	たかさき能	本市の観光振興を目的に市民主体の実行委員	商工観光部
		会が「たかさき能」を開催した。	観光課

NO.	事業名	実施状況	担当課
141	第7回たかさき雷舞フ	イベントでの集客による地域の活性化を目的	商工観光部
	ェスティバル	に、市民による実行委員会が主体となり、ダ	観光課
		ンスイベントである「たかさき雷舞フェステ	
		ィバル」を 10 月に開催した。	
142	第 36 回高崎まつり	地域の活性化や観光誘客を目的として、市民	商工観光部
		による実行委員会、運営委員会が主体となり、	観光課
		「高崎まつり」を8月に開催した。	
143	第8回高崎山車まつり	地域の活性化や観光誘客を目的として、市民	商工観光部
		による実行委員会が主体となり、「高崎山車ま	観光課
		つり」を8月に開催した。	
144	たかさき春祭り	地域の活性化や観光誘客を目的として、市民	商工観光部
		による実行委員会が主体となり、ボランティ	観光課
		アスタッフや多くの市民の協力により「たか	
		さき春まつり」を4月に開催した。	
145	第24回高崎市農業まつ	生産者団体、農業者と行政が協力し、生産者	農政部
	ŋ	と消費者が直接顔を合わせ、安心・安全な「食」	農政政策課
		について一緒に考えるためのイベントを 11	
		月に開催し、約30,000人が参加した。	
146	農作業体験ツアー	都市と農村の共生・交流や食と農の問題を学	農政部
		習することを目的とした農業体験等ツアーを	農政政策課
		10回開催し、242人が参加した。	
147	道路・河川愛護運動	市民の道路・河川に対する関心と公共心を一	建設部
		層高めるため、各地区において区域内の道	管理課
		路・河川のゴミや空き缶等の収拾及び除草作	
		業等を13回行い、延べ44,892人が参加した。	
148	たかさきアダプトまち	ゴミの減少やポイ捨て防止の啓発効果、まち	建設部
	美化活動事業	づくり意識の高揚や地域のイメージアップ等	管理課
		を目的に、道路・河川等公共的スペースの一	
		定区域について、ボランティア団体が除草・	
		清掃等の環境美化活動を行い、延べ 1,979 人	
		が参加した。	

NO.	事業名	実施状況	担当課
149	花の里親事業	花と緑のまちづくりを目的として、公募市民	都市整備部
		210 人の「花の里親」が、春と秋の年2回、	公園緑地課
		市から配布される花の苗を家庭で育て、育っ	
		た花をシンフォニーロードに植栽し、その後	
		の管理も行った。	
150	シンフォニーガーデン	高崎公園内北西にあるシンフォニーガーデン	都市整備部
	管理事業	の樹木・花壇の維持管理をボランティアグル	公園緑地課
		ープの 20 人が行った。	
151	庁舎前広場隣接花壇管	庁舎前広場に隣接した花壇の維持管理をぐん	都市整備部
	理事業	ま園芸福祉の会が行った。	公園緑地課
152	緑化ボランティア支援	庁舎前広場や街中に設置してある花壇の維持	都市整備部
	事業	管理をボランティアの花みどりの会が行っ	公園緑地課
		た。	
153	遣米使節 150 周年記念	行政と市民が共同で実行委員会を組織し、小	倉渕支所
	事業	栗上野介と高崎市のPRを目的とした、遣米	地域振興課
		使節 150 周年記念事業を実施した。シンポジ	
		ウムや講演会を開催し、延べ 108 人が参加し	
		た。	
154	第22回鳥川渓谷ロード	市民主体の実行委員会が、健康づくりと仲間	倉渕支所
	レース大会	づくりを目的に全国から参加者を募集し、市	地域振興課
		民出場者98人、市民ボランティア82人で	
		ロードレース大会を開催した。	
155	第3回はるな宮本町イ	下室田宮本町商店街の活性化と住民のまちづ	榛名支所
	ルミネーションバザー	くりに対する意識高揚を図るため、住民主体	地域振興課
	ル	でイベントを開催し、1,200人が参加した。	
156	ひだまりマーケット及	吉井地域中心街の活性化に対する意識の高揚	吉井支所
	びまちなかイルミネー	を図るため、住民が主体となり企画・運営す	地域振興課
	ション	るイベントを開催し、約500人が参加した。	
157	高崎市生涯学習フェス	市民が主体となる地域づくり・人づくりに資	教育部
	ティバル	する学習活動を推進し、また、新たな生涯学	社会教育課
		習社会を創造することを目的に、市民主体の	
		実行委員会が高崎市生涯学習フェスティバル	
		を開催し、523人が参加した。	

NO.	事業名	実施状況	担当課
158	プロ野球イースタン・	プロ野球の醍醐味と洗練されたプロのプレー	教育部
	リーグ公式戦	を観戦する機会を提供して青少年の健全育成	スポーツ課
		と市民のニーズに応えることを目的に、市民	
		主体の実行委員会が事業の企画運営を行い、	
		4,623 人が参加した。	
159	第18回高崎観音だるま	健康増進と参加者相互の交流等を目的に、市	教育部
	マーチ	民による実行委員が主体となり、ウォーキン	スポーツ課
		グ大会を10月に開催し、2,468人が参加した。	
160	世界エイズデー i n た	市民を含む実行委員会が、エイズを含めた性	教育部
	かさき	感染症予防の正しい知識を身につけることの	健康教育課
		重要性や感染者に対する差別偏見解消の啓発	
		を目的に開催した。	

(4)評価(See)過程

NO.	事業名	実施状況	担当課
161	高崎市第5次総合計画	第5次総合計画に位置付けられた主要事務事	市長公室
		業の実施状況について、平成21年度の評価結	企画調整課
		果を公表した。	
162	高崎市第 2 次男女共同	第2次男女共同参画計画の平成21年度実績評	市民部
	参画計画	価について、男女共同参画審議会で検討を行	人権男女共同
		い、市ホームページで公表した。	参画課
163	高崎市次世代育成支援	次世代育成支援対策地域協議会において、高	福祉部
	行動計画	崎市次世代育成支援行動計画の平成 21 年度	こども家庭課
		実績について評価を受け、その結果を公表し	
		た。	
164	高崎市環境基本計画	環境審議会において環境基本計画の 21 年度	環境部
		実績を報告し、審議後に「たかさき環境白書」	環境政策課
		として市ホームページで公表するとともに、	
		概要版を作成し、配布した。	
165	高崎市中心市街地活性	高崎市中心市街地活性化基本計画の進捗状況	商工観光部
	化基本計画	について、市ホームページで公表した。	商業課
166	教育委員会の点検・評	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の	教育部
	価報告書	規定に基づき、教育委員会の権限に属する事	教育総務課
		務の管理や執行状況に関しての点検・評価を	
		行い、公表した。	

(5) その他

NO.	事業名	実施状況	担当課
167	ボランティア人材登録	登録された個人や団体に対し、市等の行事に	総務部
	制度	関するボランティアの募集情報を提供した。	自治振興課
		平成 22 年度末の登録者数は 2,236 人であっ	
		た。	
168	ふるさと高崎写真展コ	観光振興を目的として、「四季の風景」や「催	商工観光部
	ンテスト	事」等を題材に市民から写真を募集し、457	観光課
		人から応募があった。	
169	景観写真展	景観に関する啓発や資源の掘り起こしを目的	都市整備部
		に、市内各地域の景観写真を一般公募し、10	都市計画課
		月にシティギャラリーで展示を行った。66人	景観室
		から 144 点の応募があり、674 人が来場した。	
170	地域人材登録活用事業	市民の自主的な生涯学習活動を促進、支援す	教育部
		るため、優れた知識や技能を持つ市民を社会	社会教育課
		教育講師として 151 回派遣し、6,039 が参加	
		した。	

2 地域における市民主体の公益活動への支援(市民公益活動への参加)

(1)情報の提供

NO.	事業名	実施状況	担当課
171	市民公益活動情報の提	市民公益活動団体やボランティア受け入れ施	総務部
	供	設等からの依頼に基づき、団体の概要やボラ	自治振興課
		ンティア募集情報を市のホームページで提供	
		した。また、市民情報センターに市民公益活	
		動に関する書籍や報告書等を閲覧用として提	
		供した。紹介している市民公益活動団体数は	
		平成 22 年度末で 164 団体であった。	
172	ハンドブック「市民公	市民公益活動を始める際の参考図書として、	総務部
	益活動を始めよう」(第	ボランティアの基礎知識や市内の市民公益活	自治振興課
	3版)の発行	動団体の活動等を紹介した「市民公益活動を	
		始めよう」(第三版)を作成し、市民情報セン	
		ターで販売(1冊 100円)した。販売数は 46	
		冊であった。	
173	リーフレット「高崎市	本市の市民公益活動支援事業を周知するた	総務部
	の市民公益活動支援事	め、リーフレット「高崎市の市民公益活動支	自治振興課
	業」の作成	援事業」を作成し、支所等で464部配布した。	
174	寄付ボランティア活動	福祉・介護・子育てに関する生活物品の無償	総務部
	情報の提供	譲渡に関する情報を広報高崎や市ホームペー	自治振興課
		ジで提供し、93件が成立した。	

(2) 人材育成、交流機会の提供

NO.	事業名	実施状況	担当課
175	日本語指導者ステップ	外国人に日本語指導を行うボランティアの資	市長公室
	アップ講座	質向上のため、講座を 5 回開催し、180 人が	秘書課
		参加した。	
176	母語支援者養成講座	日本語によるコミュニケーションが難しい在	市長公室
		住外国人への情報提供や、生活のサポートを	秘書課
		外国人の母語を使って支援できるボランティ	
		アの育成を目的とした講座を 10 回開催した。	
177	市民公益活動相談事業	NPO法人格の取得や、市民公益活動団体の	総務部
		運営・経理・税務、協働事業等に関する相談	自治振興課
		業務を6回開催した。	
178	市民公益活動促進セミ	市民公益活動の促進を図るため、必要な知識	総務部
	ナー	や技術の習得を図るセミナーを開催し、13人	自治振興課
		が参加した。	
179	NPO・ボランティア	市民公益活動団体のネットワークづくりを目	総務部
	座談会	的とし、活動の実践発表を交えた座談会を 12	自治振興課
		回開催し、延べ72団体が参加した。	
180	市民公益活動団体リー	市民公益活動団体のリーダーを対象に、本市	総務部
	ダー研修会	の市民公益活動支援事業を周知するとともに	自治振興課
		団体間の協働の可能性を探るネットワークづ	
		くりの場とするための研修会を開催し、29人	
		が参加した。	
181	★介護予防サポーター	元気な高齢者が介護予防に関する知識や技術	福祉部
	養成講座	を身に付け、地域における介護予防活動の中	長寿社会課
		心となるための講座を開催し、64人が参加し	
		た。	
182	★認知症サポーターフ	認知症サポーター養成講座を受講し、地域の	福祉部
	オローアップ研修	ボランティア活動を希望する人に対し、フォ	長寿社会課
		ローアップ研修を実施し、983人が参加した。	
183	たかさき景観案内人養	身近な地域の景観について、市内外の人に説	都市整備部
	成講座	明や案内のできる人材を育成するため、景観	都市計画課
		的に優れた建築物の見学や景観まちづくりに	景観室
		ついて学ぶ講座を2回開催し、22人が参加し	教育部
		た。	中央公民館

2 地域における市民主体の公益活動への支援(市民公益活動への参加)

NO.	事業名	実施状況	担当課
184	図書ボランティア研修	図書ボランティアに必要な専門的知識や技術	教育部
	会	などについて学ぶ講座を 27 回開催し、のべ	中央図書館
		907 人の参加があった。	教育部
			中央公民館

(3)委託、補助の実施

NO.	事業名	実施状況	担当課
185	高崎市地域づくり活動	地域活動に対する参加意識の喚起と一層の推	総務部
	推進補助事業	進を図るため、①小学校区を単位とする横断	自治振興課
		的組織が行う自主的、主体的な地域活動、②	
		町内会等が行う新規の地域づくり活動、③住	
		民自らの発想により行う地域づくり活動に対	
		し、77件について事業費の一部を助成した。	
186	市民公益活動公募事業	市民公益活動の普及・促進を図るため、講演	総務部
		会などの事業企画を公募し、選考した2件に	自治振興課
		ついて、事業の実施を応募者に委託した。	
187	自主防災組織設置・活	災害時における地域防災力の向上を図るた	総務部
	動支援事業	め、町内会単位での自主防災組織の設置と防	防災安全課
		災訓練の実施について、77 件の助成を行っ	
		た。	
188	★介護予防サポーター	介護予防サポーターが地域活動を行う際の事	福祉部
	事業	故に備えるため、社会福祉協議会のボランテ	長寿社会課
		ィア保険への加入について助成した。	